令和７年度事業報告書

１　概　要

令和 7 年度の国内経済は、長らく続いた「デフレ・コストカット型経済」から脱却し、新たな成長型経済へ移行する局面を迎えたが、景気は緩やかな回復基調を示しているものの賃金の伸びが物価上昇に追いつかず、個人消費の回復は力強さを欠いている。

為替については、日米金利差の縮小や金融政策の転換を背景に、これまでの急激な円安には一定の落ち着きが見られる。しかし、ウクライナ情勢に加え中東地域の緊張が続いており、原油価格の変動や物流の不安定化が国内経済に影響を及ぼすリスクは依然として高く、国際情勢の動向を引き続き注視する必要がある。

雇用情勢を見ると、観光関連産業やサービス業を中心に深刻な人手不足が継続している。一方で、製造業や建設業では、原材料価格の変動が雇用拡大の制約要因となる可能性がある。こうした状況を踏まえ、本センターとしても地域の雇用動向を的確に把握し、労働市場の安定に向けた取り組みを一層強化していく必要がある。

こうした中、本センターとしては、就業機会の創出や未就業対策、女性会員の相互交流に努めるとともに、会員拡大、就業機会の確保・提供を促進した。安全・適正就業推進事業を最重要課題とし事故防止対策の強化や安全意識の啓発にとりくんできたが、傷害事故、賠償事故のいずれも減少には至らず、引き続き喫緊の課題としてより一層の対策強化が求められている。

また、公益法人制度改革やフリーランス法の制定などセンターを取り巻く環境は変化しており、引き続き関係法令の遵守に取り組んでいかなくてはいけない。

センターの事業実績としては、会員数は前年度と比べて 22 人増加の 804 人、契約金額はほぼ同額の 371,339,957 円となった。

今後も会員の拡充及び就業機会の創出に積極的に取り組むとともに、安全対策の徹底を図り新規事業の取り組みに努め、市民から信頼され地域に貢献できるセンターを目指し、会員はじめ、役職員が一丸となって引き続き努力していく所存である。

事業実績は以下のとおりである。

区　分	令和６年度(A)	令和７年度 (B)	(B)―(A)	前年度比 (%)
正会員数 (人)	782	804	22	102.8
受注件数 (件)	2,932	2,471	△461	84.28
契約金額 (円)	371,802,433	371,339,957	△462,476	99.88

※正会員数は３月 31 日現在

※派遣事業（県連合会実施）分含む

２　事業実施状況

⑴　高齢者に対する雇用によらない就業機会の確保及び提供事業

ア　地域社会に密着した会員の希望、知識及び経験に応じた就業等の活動機会を確保提供

㋐　子育て支援事業として、「産前産後ヘルパー事業」を実施し、前年度と比べて受注件数４件増加の 64 件、契約金額 145,047 円減少の 697,453 円であった。「児童クラブ指導員派遣事業」は契約金額 213,560 円増加の 4,499,681 円であった。

㋑「福祉・家事援助サービス事業」として、前年度と比べて受注件数９件減少の 116 件、契約金額 539,545 円減少の 1,117,341 円であった。

㋒　地域就業機会創出・拡大事業として、「空き家等管理代行サービス事業」を実施し、前年度と比べて受注件数 25 件増加の 462 件、契約金額 163,876 円減少の 7,343,956 円であった。

㋓　高齢者にふさわしい地域社会に密着した仕事を、西条市をはじめとする官公庁、一般家庭、企業等から有償で引き受け、会員の希望、知識及び経験に応じて請負又は委任による提供を行った。

イ　会員の拡充

㋐　会員の拡充に関する報奨制度の活用による入会者は、26 名であった。

㋑　入会説明会を月に２回開催するとともに、各種講習会終了後に臨時入会説明会を開催した。

㋒　女性限定入会説明会を定期的に開催し９名の参加があり、４名が正会員として入会した。

㋓　逐次、未就業者へのアプローチを図るとともに、就業機会の提供を行い退会会員の防止に努めた。

⑵ 雇用による就業を希望する高齢者に対する職業紹介事業及び労働者派遣事業

ア　職業紹介事業

職業紹介事業は、センター事業に馴染まない臨時的、短期的な雇用に結び付く高齢者への職業紹介事業で、本年度において実績はなかった。

イ　労働者派遣事業

労働者派遣事業は、愛媛県シルバー人材センター連合会西条実施事務所として、前年度と比べて派遣就業会員 23 名減少の 317 名、受注件数 17 件増加の 126 件、契約金額 156,389 円増加の 199,363,468 円であった。

派遣労働者としての心構えや知識を学ぶことを目的とした派遣会員教育訓練研修を開催し、150 名の参加があった。

⑶　高齢者に対し、就業に必要な知識及び技能を付与する講習事業

ア　愛媛県シルバー人材センター連合会と連携した事業

高齢者活躍人材育成事業として、地域の一般高齢者を含めて次の講習会を開催した。

㈠「刈払機取扱作業者安全衛生講習会」を２日間にわたり開催し、10 名（一般３名、会員７名）の参加があった。

なお、講習会時に併せて入会説明会を行い、２名が正会員として入会した。

㈡「送迎業務講習会」を開催し、10 名（一般６名、会員４名）の参加があった。

なお、講習会時に併せて入会説明会を行い、４名が正会員として入会した。

㈢「剪定基礎講習会」を２日間にわたり開催し、５名（一般３名、会員２名）の参加があった。

なお、講習会時に併せて入会説明会を行い、２名が正会員として入会した。

㈣「シニアメイクアップセミナー」を開催し、９名（一般８名、会員１名）の参加があった。

なお、講習会時に併せて入会説明会を行い、２名が正会員として入会した。

イ　就業意欲のある高齢者を対象とした技能開発講習会

㈠「草引き体験会」

草引き作業の新たな班員の増強を目的として、班長が講師となり講習会を開催し、20 名（会員）の参加があった。

㈡「草刈講習会」

草刈機の基本操作を学び安全に就業できる班員の増強を目的として、講習会を開催し、８名（一般１名、会員７名）の参加があった。

㈢「スマホ講習会」

会員のデジタル化の推進を目的とした講習会を開催し、延べ 34 名（会員）の参加があった。

⑷　高齢者の生きがいの充実及び社会参加の推進を図る事業

ア　社会参加活動

㈠　地域社会に貢献するシルバーをめざし、清掃活動を中心としたボランティア活動を実施した。（丹原中央公園清掃 17 名、中城公園清掃 27 名）

㈡　会員ひろばを利用し、会員の趣味を活かした作品の展示や、作品作りを通して女性活躍推進委員会の活動推進を図るとともに会員相互の交流を深めた。

イ　相談・情報提供事業

㈠　ホームページ、会報、会員ひろばの掲示板を活用し就業に必要な情報提供を行った。

㈡　理事参加のもとで就業相談会を毎月開催し、会員及び地域における働く意欲のある高齢者のために就業相談、就業情報提供、講習会等案内を行い、累計 72 名（一般 33 名、会員 39 名）の参加があった。

なお、一般参加者の内 16 名が正会員として入会した。

㈢　未就業者に対し、未就業者相談会を行い、計 158 名に対応した。また、

未就業者への就業促進として、公園での草引きの就労提供を年２回行い、計47名の参加があった。

⑸　高齢者の多様な就業機会の確保及び地域社会、企業等における高齢者の能力の活用を図るための事業

ア　就業開拓等事業

就業機会開拓推進員を配置し、地域事業所、地方公共団体等を訪問面談し、高齢者にふさわしい仕事の開拓に努めた。また、空き家等管理代行サービスのパンフレットを市内外に配布し、空き家管理及び墓地清掃業務の推進に努めた。

イ　調査研究事業

⑺　一般家庭の新規発注者161件の受注に対しアンケート調査を実施し、事業運営の検討課題を見出し、対応策の検討を行った。

⑴　役職員の先進地視察研修を実施し、独自事業や女性会員の拡大などこれから取り組むべき課題について研修を受けた。

ウ　安全・適正就業推進事業

⑺　安全就業の推進

ａ　事故につながる就業の見直しを行った。

ｂ　会員の安全意識を高め、事故防止の徹底を図ることを目的とした交通安全講習会を開催し、計223名の参加があった。また、運転業務に携わる会員を対象に安全運転講習会を開催し、計32名の参加があった。

ｃ　定期・不定期の安全パトロールでの危険箇所の早期発見や、飛散防止対策として防護ネット等の使用を徹底、会員への危機意識の向上策を講じた。

ｄ　安全・適正就業対策基本計画に基づく年次計画を策定しホームページへ掲載、会員への普及啓発に努めた。

ｅ　事故に対し、臨時の班長会を開催し、再発防止の呼びかけ、事故防止対策の徹底を図った。

ｆ　安全スローガンの募集や会報誌への安全記事掲載など会員の安全意識の啓発を行った。

⑴　適正就業の推進

ａ　長期就業や月間就業時間の是正を行い、公平な就業機会の提供を確保した。また、ホームページ等で就業情報の発信を行うなど公平な就業機会の提供に努めた。

ｂ　フリーランス法に基づき就業条件の明示やハラスメント対策など法令順守の徹底に努めた。

エ　普及啓発事業

⑺　会員及び関係機関へ「シルバー西条悠々」を年２回発行し、配布した。

⑴　センター事業の内容を広くＰＲするため、タウン誌や各種会報での啓発を行うとともに、市広報やLINE、公民館だより、ＳＮＳで普及啓発に努めた。

㈦ ハローワークに定期的に入会説明会や就業相談会の案内チラシを設置し、シルバーの周知を図った。

㈧ 高齢者の健康の維持・促進を支援し、社会参加活動を通じて、会員及び一般の高齢者との相互交流を図る目的でシルバー講座を開催した。

・「終活ってなあに？」を開催し、48 名（一般 17 名、会員 31 名）の参加があった。
・「B・B ストレッチ」を開催し、８名（一般４名、会員４名）の参加があった。
・「ウォーキングを楽しもう」を開催し、９名(一般６名、会員３名)の参加があった。
・「つまみ細工で春の花を作ろう」を開催し、20 名(一般 16 名、会員４名)の参加があった。